

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-9号)

平成30年8月13日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年8月9日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

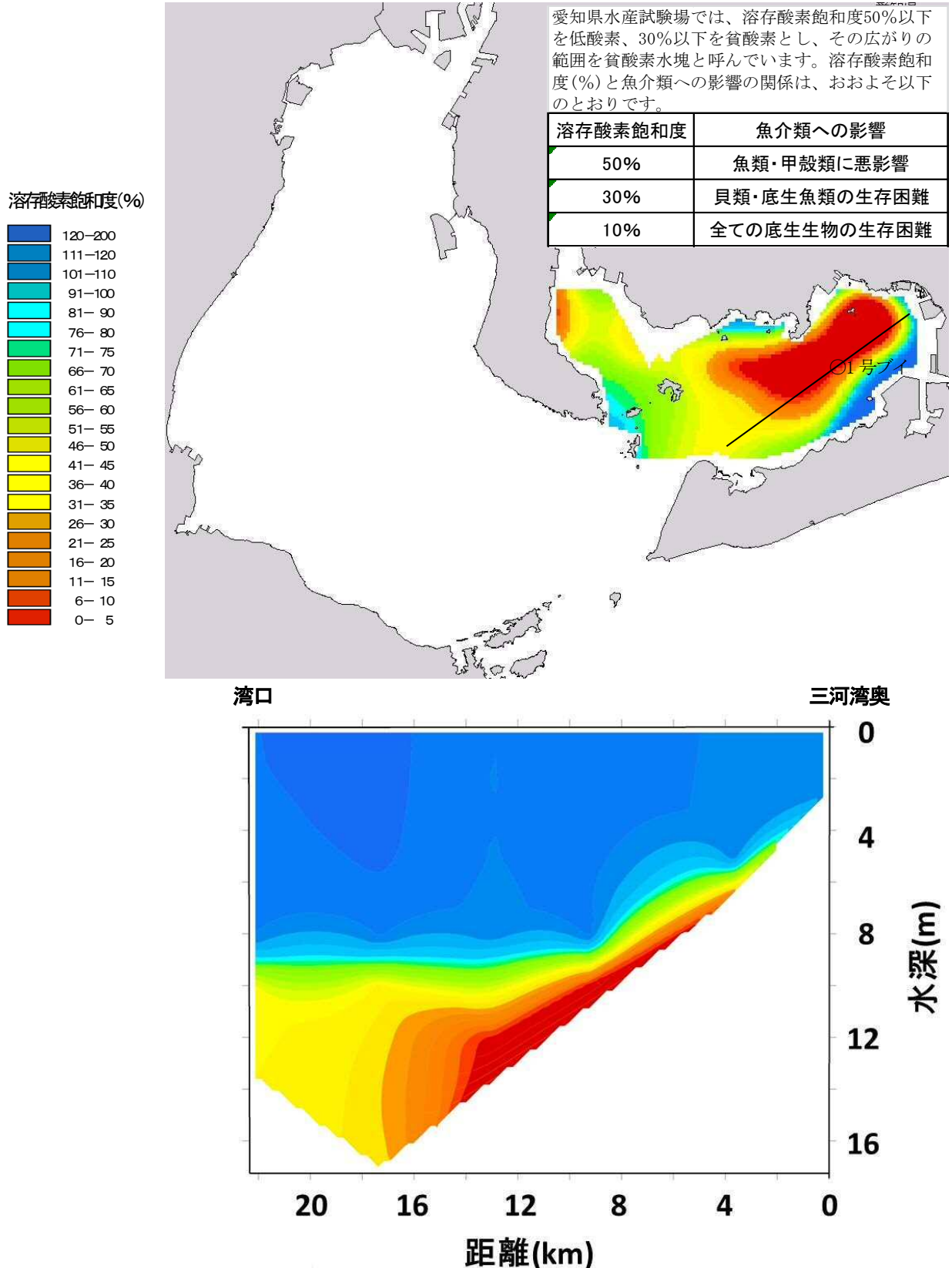


図1 三河湾（8月9日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）
（愛知県「へいわ」調査）

三河湾

8月9日の調査結果を図1に示しました。前回調査（8月2、3日）に比べ、渥美湾で溶存酸素飽和度10%以下の範囲が拡大していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、8月2日から7日にかけて徐々に貧酸素水塊が発達している様子が観測されました（図2）。また、8日の午前から9日にかけて風速4.0～8.9 m/s（平均6.8 m/s）の北西から西の風が断続的に吹いていたことにより蒲郡地先で苦潮が発生しましたが、1号ブイでは依然として貧酸素水塊がみられています。

気象庁が発表した週間予報では、気温は平年並みから高めで経過すると予想されており、今後も表層水温が高いまま経過すると考えられます。このため、躍層が発達して貧酸素水塊の規模は維持または拡大するものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.9～29.7	27.7～31.3
底層	24.7～29.5	28.9～33.2

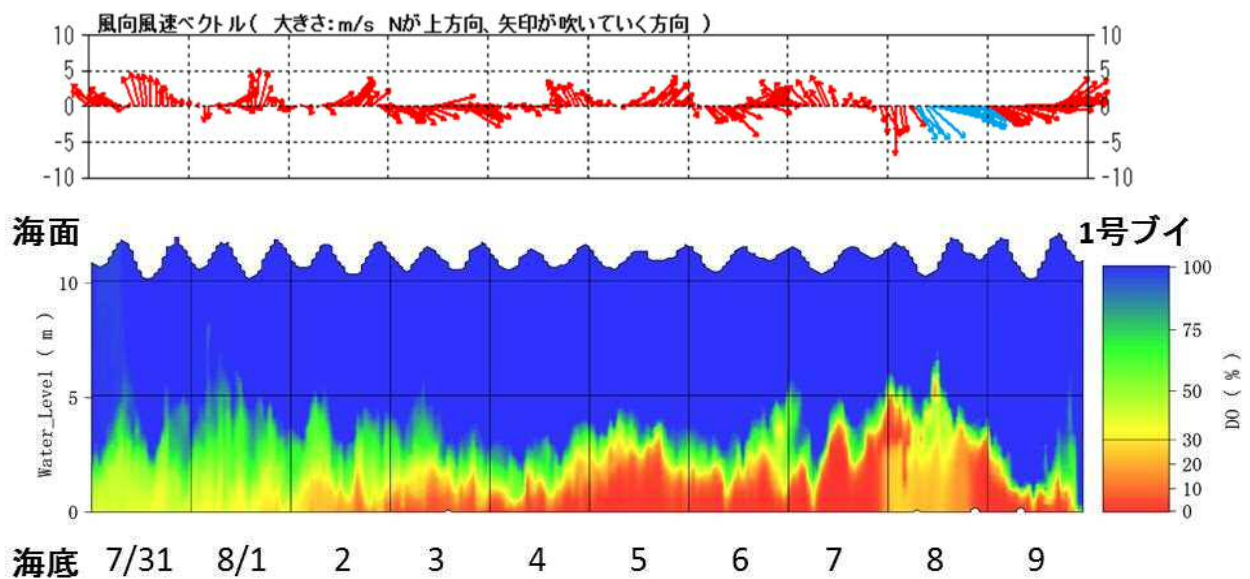


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

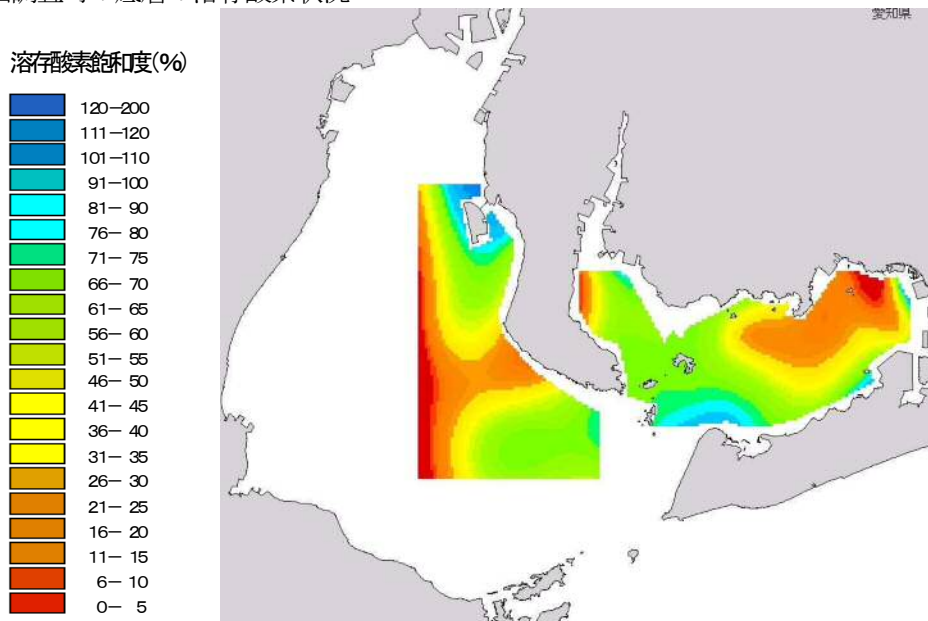


図3 平成30年8月1日（伊勢湾）、8月2、3日（三河湾）